



くみあいたより

JAなんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南 幌 町 農 業 協 同 組 合

ゆめぴりか生産部会総会開催

2月12日（金）、JAなんぼろ「ゆめぴりか」生産部会では、書面にて総会を開催しました。総会議案内で審議された内容は、賛成多数で全て承認されました。

議案

- 第1号 令和2年度事業報告について
- 第2号 令和3年度事業計画（案）について
- 第3号 令和3年産「ゆめぴりか」配分面積（案）について
- 第4号 役員改選について



HASEKUMAセール実施

3月2日（火）～4日（木）、当JAグリーンセンターでは、株式会社長谷川熊吉商店によるHASEKUMAセールを実施しました。

工具類、器具類、機械類など様々な商品がアウトレット価格で販売され、実際に工具を手に取り使い心地を確かめ購入を検討する組合員の姿もありました。

新型コロナウイルスの影響で、例年に比べ規模を小さくしての開催となりましたが、盛況のうちに今セールを終えられたと感じております。



長ねぎの苗立ちを確認

3月5日（金）、当JA育苗センターで長ねぎの発芽自主検定を行いました。

本年育苗された品種は「北のいぶき」等であり、2月8日より播種された長ねぎは、1ヶ月ほど経過し、約10cmの高さまで成長していました。

検定は、早朝より行われ、高島専務をはじめ、土井理事、蔬菜園芸組合の南則之組合長（11区）、長ねぎ部会の部会員らで行いました。

検定結果についてはどの品種も発芽率97%～98%と好成績であり、苗立ちも良好で、生育も順調に進んでいました。

なお、1作目の組合員への引き渡しは、3月12日（金）より行われました。



南幌町民初受賞「交通栄誉章緑十字銀賞」

2月26日（金）、栗山町カルチャープラザで交通栄誉章緑十字銀賞の授与式が行われました。

今回受賞されたのは、当JAの組合員である高橋勝治さんで、平成10年より南幌町交通安全指導員として街頭指導等の啓発活動に率先して努め、交通事故未然防止と交通安全教育及び指導に尽力されたことにより、今回の交通栄誉章緑十字銀賞の受賞となりました。

交通栄誉章緑十字銀賞の受賞は、南幌町民初の快挙です。また、奥様である朋美さんには、感謝状が贈られました。



マスクケース制作・町内福祉施設に寄贈

1月27日（水）、当JA女性部代表者及び、ボランティア部会・ビュー華と合同でマスクケースを制作しました。また、2月15日（月）に、制作したマスクケースは南幌町社会福祉協議会を通して、町内の各福祉施設に寄贈されました。この活動は、JA空知女性協議会の提案により「マスクケース作り活動」として、制作したマスクケースを訪問介護事業者や福祉施設などへ寄贈し、地域活動の輪を広げることを目的に管内各JAの女性部で行われたものです。

新型コロナウイルスの影響により、医療従事者や福祉施設関係者が大変な思いをしていると思いますが、当JA女性部でもこのような形で今後も地域に貢献して行きたいと思っています。



青年部だより

発行者
JAなんぼろ青年部
編集責任者 若杉 宗樹

くるるの杜で 雪中野菜掘り出し体験

2月20日（土）、ホクレンくるるの杜にて、雪中野菜掘り出し体験が行われ、盟友4名が参加しました。

消費者と盟友が雪の中に貯蔵された野菜をスコップを使用しながら一緒に掘り出し、掘り出した野菜を使用し簡単な調理を行いました。

青年部では今後も、町内外消費者に南幌町農業の魅力などを伝えていきたいと思っています。



長船技師による営農情報！

★令和2年の南幌町の「土」はこうなっている



今月は農作業も本格化し水稻育苗ハウスの設置や播種作業等で忙しい毎日かと思ひます。

J Aで昨年実施した町内全域の土壤分析結果のうち特徴的な分析項目を抜粋したのが下のグラフです。

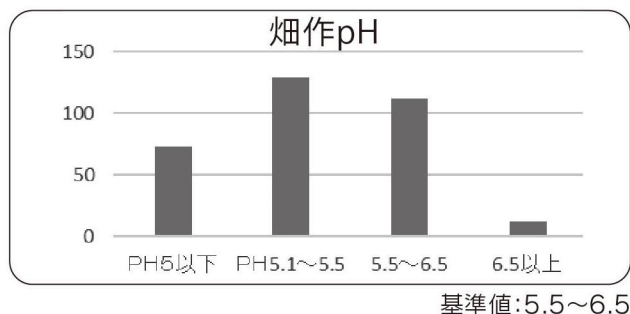
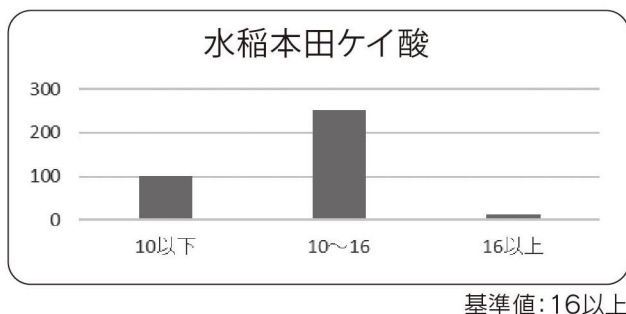
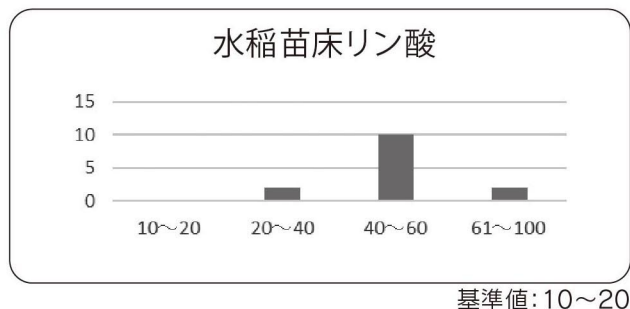
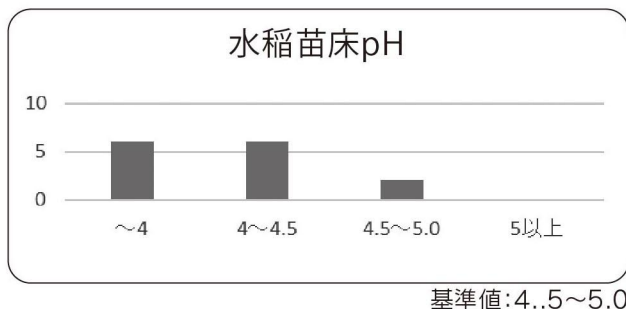
1 土壤分析点数の内訳

年度	水田育苗床	水田	畑作	野菜	ハウス	合計
令和2年	14	363	310	25	26	738

※本年分析点数内訳 資材課分析138点、農業振興課外部委託分析600点

- ・ **水稻育苗床**：p Hは基準値の4.5以下が多くなっています。石灰質資材を投入し基準値まで改善します。
リン酸過剰なので土壤分析処方箋に基づき、単肥配合を推奨します。
- ・ **水稻本田**：ケイ酸は多くの圃場で基準値以下となっています。
ケイ酸は耐倒伏性、病害虫抵抗性、登熟に関与し、稲が最も多量に吸収する養分のため毎年補給することが大事です。
- ・ **畑作**：p Hは基準値より低く、特に5以下の圃場が分析点数の24%を占めます。
土壤分析結果に基づき石灰資材を投入し基準値まで改善します。

2 土壤分析結果概要



J Aでは土壤診断結果に基づき圃場ごとに処方箋を作成し施肥銘柄、施用量、金額を示しています。

土壤分析結果を活用し生産性向上と低コスト生産を目指しましょう。

2022年1月31日まで！

JAマイカーローン



車の修理や車検
自動車学校の費用も借入可能！



適用金利

変動金利型

年 **1.70** % ~ 1.75%

保証料込み

貸付実行
手数料0円

①～⑤から2項目該当で適用！

①出資加入 ②JAネットバンク ③給与・年金振込
④JA一体型カード ⑤公共料金3種類以上

※該当しない場合(保証料込) 年2.50~2.55%

※ 上記利率はお借入れ当初に適用されるものです。適用金利は年2回見直しさせていただきます。
※ 上記金利は金融情勢の変化により見直しさせていただくことがあります。

JAマイカーローン(変動金利型)：店頭基準金利 年2.60% (2021年2月1日現在)

【JAマイカーローン申込概要】

ご利用いただける方

- お借入時の年齢が18歳以上かつ返済終了時の年齢が80歳未満の方
(※未成年者については連帯保証人が必要な場合がございます。)
- 南幌町にお住い、もしくは南幌町で働かれている方
- 安定・継続した収入がある方
- 当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方

お使いみち

- 自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪)
- 税金、自動車共済(保険)掛金、登録諸費用等、車検・整備の費用
- 免許の取得費用
- 自動車用品、他行マイカーローン借換費用(当JA指定の保証機関に限る)

ご融資金額

- 原則10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内で1万円単位)

ご融資期間

- 6か月以上10年以内(1ヶ月単位)

ご返済方法

- 元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

※ 店頭にて返済額の試算も承っております。
※ 審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

担保・保証

- 担保：無担保
- 保証：当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。

毎月の返済例(※店頭にて返済額の試算を承っております)

※お借入金額100万円(毎月返済60万円、ボーナス月増額返済40万円)、適用利率1.70%、元利均等返済の場合

借入期間	3年	5年	7年
毎月返済	17,107円	10,438円	7,581円
ボーナス月返済(年2回)	68,663円	41,893円	30,426円

ご用意いただく書類

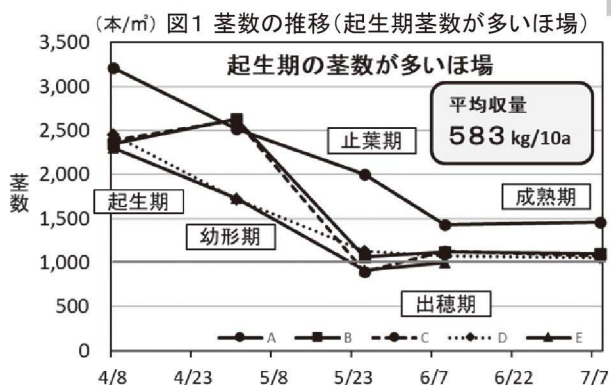
- 1 本人確認書類(運転免許証・健康保険証など)
- 2 自動車の注文書またはお見積書など、資金使途がわかる書類
- 3 所得証明書(給与所得の方は、源泉徴収票で可)
- 4 ご印鑑(JAにお口座をお持ちの方はその届印)
- 5 その他JAが必要とする書類

 **JAバンクなんぽろ**

TEL 011-378-1891(直通)
011-378-2221(代表)

「小麦の収量向上を目指した学習活動」

例年4Hクラブの町内活動報告会開催時に発表していた内容ですが、本年は新型コロナウイルスの影響で中止となつてしまい本誌で紹介させていただきました。



- ・最後まで茎数1000本以上で、収量はばらつく。
- ・起生期多量追肥は収量UPに繋がらない。
- ・倒伏軽減剤は全ほ場で実施
- ・強い茎づくり対策、登熟促進対策実践ほ場では収量を確保した。

「茎数のコントロールがしづらい」

表1 起生期茎数が多いほ場の施肥量と収量、クラブ員のコメント

	窒素施肥量 (kg/10a)					製品収量 (kg/10a)	クラブ員のコメント
	基肥	起生期	幼形期	止葉期	出穂期		
A	4.0	4.2	8.0	10.0		708	茎数が多いままなので心配しつつ、強い茎づくりと登熟促進を図った(ケイ酸加里や亜リン酸使用)。気象条件に恵まれ、なんとか収穫に至り、収量もあった。
B		6.0	4.0	5.0	2.3/4.6	569	間作小麦で雑草の処理対策が甘く、追肥が効果的に効いてくれなかった。
C	2.8	6.0	3.8	5.0	3.8	719	春の追肥は控え目、幼穂形成期に「むぎなで」をやった。多めの実施で強い茎づくりを図り、効果があったと実感している。
D	5.0	10.0	7.4	0.9		294	幼穂形成期以降、茎数と葉色を考慮してもっと追肥が必要だった。細麦が多かった。
E	4.5	10.0	4.0	2.0		516	止葉期頃の追肥量が不足、タイミングも遅くなってしまった。

令和2年度小麦プロジェクト活動内容

月 日	活動内容
4月8日	起生期調査と現地研修(追肥計画)
5月1日	幼穂形成期調査と現地研修(追肥、防除)
6月9日	出穂期調査と現地研修(追肥、防除)
7月8日	成熟期調査と現地研修(収穫時期の予測)
8月6日	収量調査(脱穀・子実重等)
9月1日	R2年産まとめ、R3年産計画
11月19日	R3年産越冬前調査、現地研修(防除)
12~1月	プロジェクト成果のまとめ



「むぎなで」で強い麦づくり



普及センターによる現地研修の様子

起生期の茎数が適正なほ場では、マニュアルに沿った追肥を意識しつつ、各自のほ場条件に合わせた管理が行われ、収量が確保できました(表2)。

茎数が多いほ場では、茎数をコントロールすることに苦戦しました。倒伏対策を行い、昨年の気象条件により、なんとか穫れたというほ場もあり、全体で見ると収量にバラツキがありました(表1)。

起生期の茎数調査で「2000本以上の多いほ場」と「ほぼ適正なほ場」があり、2つのパターンの茎数の推移(図1, 2)から、生育の傾向や栽培内容を整理しました。

令和2年度産秋まき小麦は、越冬後の茎数が多かったため、4Hクラブでは「m当たりの穂数を750本に近づけること」に向かって窒素追肥を実践しました。

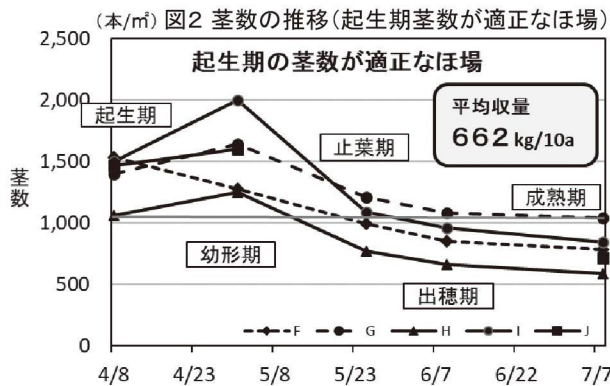
南幌4Hクラブは自己研鑽と仲間の親睦をとおして、地域の活力として寄与することを目的に活動しています。多くのクラブ員が栽培を任されている小麦は、学習意欲と収量向上への意識が高く、継続してプロジェクト活動に取り組んでいます。



南幌町4Hクラブ
令和2年度会長
奈良岡 凌平



起生期調査中。
いつもより大変！



- ・収量は600kg/10a以上で安定。
- ・追肥はほ場の茎数や葉色を見て判断可能。
- ・倒伏軽減剤はほ場の状態に応じて実施決定。
- ・登熟を促す追肥に重点をおくケースが多い。

「茎数のコントロールが
しやすい」



収穫後は子実の
品質を確認！

表2 起生期茎数が適正なほ場の施肥量と収量、クラブ員のコメント

	窒素施肥量(kg/10a)					製品収量 (kg/10a)	クラブ員のコメント
	基肥	起生期	幼形期	止葉期	出穂期		
F	5.9	3.0	5.5	7.5		601	茎数コントロールはうまくいったが、追肥の重なりから倒伏。製品収量をもっと上げたい。
G	4.2	4.0	4.0	9.2		641	低pHで肥料の吸収が悪いほ場だが、追肥を降雨前に行って吸収を促した。
H	5.0	8.0	4.0	4.0		640	低pHほ場なので、起生期追肥はやや多め。その後はほ場を見ながら追肥。収量は多く狙いたい、倒伏しない程度にしたい。
I	4.2	2.4	5.0	7.0		770	起生期茎数多いので追肥を遅らせ、少なめに。起生期より幼穂形成期重点が重要か？全体的に倒伏が発生し、追肥量の微調整が必要と感じた。
J	6.0	5.0	3.0	6.0	6.0	646	早まきはせず、は種量と追肥で茎数管理し、後半の追肥も重視。

＜4Hクラブが考える「茎数が多い場合の施肥方法」＞

- ① 起生期の減肥や追肥時期を遅らす事も必要。茎数を増やさないように、窒素2～4kg/10aにとどめる。
- ② 幼穂形成期に重点を置いて窒素追肥を行い、幼穂を充実させる。
- ③ 止葉期の追肥(窒素6kg/10a)は、収量確保には重要。

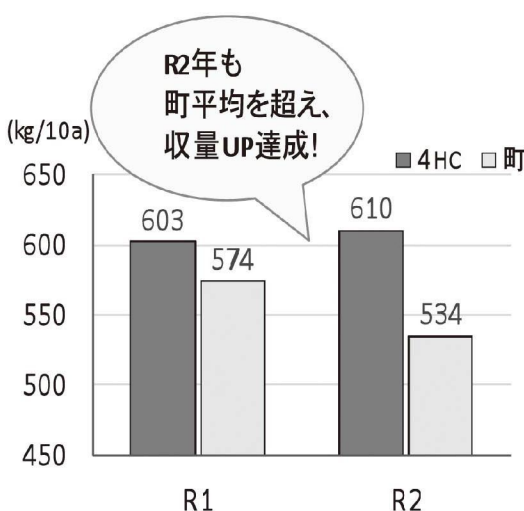


図3 平均製品反収 (JA受入実績)

また、追肥と収量の実態から、幼穂形成期と止葉期の追肥が重要であることもわかりました。

クラブ員全員が最終目標である「収量の確保」に向かって、肥培管理や丈夫な麦づくりの工夫をし、小麦をよく観察し、よく考えて作った一年になりました。学習活動を継続して行い、仲間との情報交換も出来たことで、それぞれ技術が向上していると思います。

今回の結果から、4Hクラブが考えた「茎数が多い場合の施肥方法」を上記にまとめてみました。起生期の茎数が多いと管理が大変難しいことも痛感し、今後は適正な茎数の中で収量の向上について考えていく予定です。

「南幌町ではどのような姿の小麦を作れば良いのか？」まだ、疑問が残っており、次年度もクラブ員全員で、さらに研鑽していきたいと思っています。

理事会報告

2月24日

2月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書の作成について
 - 2、第73回通常総会の提出議案（総会参考書類）について
 - 3、令和2年度剰余金処分案について
 - 4、令和3年度事業計画の設定について
 - 5、賦課金の賦課及び徴収方法について
 - 6、役員報酬の支給について
 - 7、土地改良法にもとづく土地改良事業の実施について
 - 8、定款および規程の一部変更について
 - 9、総会報告事項の承認について
 - 10、令和3年度営農計画書審査方針等の設定について
 - 11、令和3年度営農計画書審査方針等の設定について
 - 12、令和3年度における理事者に対する共済・貯金担保貸付の包括承認について
- 【報告事項】
- 1、営農振興組合長会議について
 - 2、令和2年度北海道報徳《善行賞》受賞者の決定について
 - 3、JAグリーンセンターの土日・祝日営業について
 - 4、南幌町米生産部会及び麦生産部会推進員会の報告について
 - 5、1月末農産物の保管状況について
 - 6、1月期JAローンの貸付について
 - 7、令和2年度年間経営定期点検実施報告書について
 - 8、内部監査の実施報告について
 - 9、令和2年度自己査定結果について
 - 10、リスク情報について
 - 11、マネー・ローンダリング等および反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について

3月17日

3月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書および注記表の承認について
 - 2、総会報告事項の追加および承認について
 - 3、総会議決権行使書面の取扱について
 - 4、固定資産の取得について
 - 5、大口貸付について
 - 6、行政庁に提出する業務報告書について
 - 7、不良債権の処理方針について
 - 8、出資金の減口について
- 【報告事項】
- 1、第2回営農振興組合長会議開催結果について
 - 2、令和3年度春の経営懇談会の開催内容について
 - 3、令和2年度委託調製大豆概算金支払および仮渡金返還について
 - 4、令和2年度委託調製なたね精算および仮渡金返還について
 - 5、令和2年度てん菜本精算および仮渡金返還について
 - 6、南幌町米麦改良協会JA出荷および良質米出荷表彰について
 - 7、2月末農産物の保管状況について
 - 8、会計監査人の決算監査における監査報告書について
 - 9、内部監査の実施報告について
 - 10、2月末財務状況について

～表紙の紹介～

◎今月号は、3月8日、9日に当JAで開催した施肥設計相談会に出席された皆さんに表紙を飾っていただきました。



私達のJA

令和3年2月末日現在

組合員 (前年同期比)	2,736名 ▲22名
正組合員 (前年同期比)	454名 △0名
准組合員 (前年同期比)	2,282名 ▲22名
正組合員戸数 (前年同期比)	285戸 ▲4戸

職員異動

人事異動は左記の通りです。
退職（2月28日付）
▽高西 咲（旧部署：金融部金融課）

編集後記

気づくと入協して早1年が経過していました。この一年間は、新型コロナウイルスの影響で、例年通りとはいかない日々でした。今年は、少しでも今まで通りの世の中に戻る事を願って1年を過ごしたいと思います。

くみあいだより担当の吉田は積雪調査を行いました。

